

花王株式会社



- 所在地：東京都中央区
- 従業員：8,508名
- 会社設立年：1887年
- 事業内容：製造業

<https://www.kao.com/jp/>

プロジェクト名

タイ王国におけるデング熱予防のためのAI技術を活用した蚊媒介ウイルスの拡散予測モデルの構築と予報システムUXの向上を図る実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：
 - タイ保健省疾病管理局（DDC）
 - NECTEC（国立電子コンピューター技術研究センター）※NSTDA傘下
- 協力・連携の内容：
 - デング熱発生源の予測システム構築と生活者への情報提供



現地の経済・社会課題

- コロナ禍によりウイルスによる脅威が顕在化した中、熱帯・亜熱帯地域におけるデングウイルスへの対応もまた喫緊の課題。タイにおけるデング熱感染者は毎年5万人～15万人。高リスク地域は、人口密集地であるバンコクとその周辺地域、工業地帯など。また、感染者は4～15歳の学童が最も多い。都市部、若年層の健康・身体へのリスクの回避は、安定的な経済成長の基盤のみならず、健やかで持続可能な社会の実現に寄与する。また、デング熱はASEAN諸国の共通課題でもあり、社会課題の解決は波及効果大。

実証内容

- 保健省DDCのデング熱罹患患者データ解析および、蚊のデングウイルス伝播のモニタリング情報の取得/AI分析により、早期かつ正確にデング熱の原因となるウイルスを保有する蚊を介した拡散の予測モデル構築。
- 病院、学校などのコミュニティを通じて生活者にデング熱のリスクに関する情報を届けて予防行動を促すため、罹患患者データを生活者に情報提供するアプリを開発・運営するNECTECと連携し、UI/UXの高い予報システムを確立・搭載する。

期待される裨益効果

- リスク認知・予防行動の向上によるデング熱罹患者の減少さらに、政府デング熱対策費の削減、ASEAN諸国への啓発等。
- 予防行動を啓発を通じて、忌避剤の使用率・使用頻度の向上に伴う市場の拡大・創出にも寄与（副次的効果）。